

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション永田
所在地	(〒 940 - 0874) 新潟県長岡市永田 2 丁目 9 番 25 号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24 時間 365 日営業。必要な人に必要なサービスを提供し、その人の築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 1 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	(7) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 3 月 7 日	出席人数 (合計)	(20) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	■自事業所職員 (2人) ■市町村職員 (1人) ■地域包括支援センター職員 (1人) ■地域住民の代表者 (1人) ■利用者 (1人) ■利用者の家族 (1人) ■知見を有する者 (1人) ■医療従事者 (6人) ■その他 (6人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リモート化が進んでいるためリモートを活用し外部の研修に参加できるよう業務改善する。 ・ミーティングの開催は月 1 回から週 1 回に増やす等多くの意見やカンファレンスの機会を持つ。 ・研修やミーティングにて職員のケアの向上に努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため外部研修の機会は少ないが法人内研修など ZOOM を活用した研修もあった。参加後は伝達している。 ・週 1 回の開催は出来なかったが月に 3 回程度はカンファレンスをする様にした。 ・ヘルパー研修やミーティングは定期的実施し技術向上や知識習得できるように心掛けている。 ・コロナ感染予防対策のため具体的な研修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修はスキルアップに繋がるので参加できるようにして下さい。 ヘルパー研修でも集合研修からビデオ研修と方法も模索して 5 事業所で行っている。 申し送りやタブレットでの情報共有は行っているが業務が混んでくることで週 1 回の開催は出来なかった。空いた時間を活用し皆の意見を集めてカンファレンスを行った。 コロナ感染予防の具体的な研修を実施し感染予防に努めてきた。5 事業所間で有事の時は協力できるように連携している。 災害時の不安や一人夜勤での不安については現状の課題を共有し具体的に課題解決に取り組むことも安心安全に業務にあたるため有効ではないでしょうか。 ※介護医療連携推進会議開催について適切に開催できていない。本来の会議の目的を理解し適切に開催していかななくてはならない。

Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの把握を行い適正なサービスを提案していく。 在宅生活が継続出来るように日々の訪問時には観察する視点を持ち変化を早期発見し他職種関係者に相談していく。 	<ul style="list-style-type: none"> その人の一日の生活リズムを把握し定期訪問時間を調整した。その方の生活を理解するように職員全員関わり援助を行った。 日々の援助での変化に注視している。寝たきりの方へのアプローチの幅が少ないと感じており課題である。 <p>変化時には他職種へ相談し早期対応を心掛けている。</p>	<p>ご利用者やご家族の生活のリズムを把握理解し柔軟に訪問を調整している。</p> <p>寝たきりの方へ心身機能の維持・回復について様々なアプローチの方法があるのでまずは本人の意思確認を継続しながら継続して取り組むと良い。</p> <p>特に状態変化がなくても報告意見交換ができるが良い。</p>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に合う他職種のサービスが提案できるように情報共有していく。地域のサービスの確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に必要と思われるサービスの提案はしているが実際にサービス提供には結びつかなかった。利用者やご家族の同意を頂くことに課題が残った。 利用者だけでなくご家族の負担も考えて配食サービスやふれあい収集など提案している。 	<p>サービスの提案を受け入れてもらえないのであれば今後どのように対応策していくのか検討してください。</p> <p>ご家族のことも考慮して検討している。</p>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	<p>コロナ禍で出来ることあるのか見極めていく。</p> <p>事業所の情報発信については仕組みを構築していく。</p> <p>推進会議の場に職員がもっと参加できるようにし直接委員の方の意見を聞く機会を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で出来ることを見出せなかった。 情報発信についても出来ていない。継続していく課題である。 推進会議自体を適正に実施できなかった。 	<p>介護医療連携推進会議は適切に開催してください。</p> <p>コロナ禍でもできる事はあると思います。検討してください。</p> <p>地域の方やケアマネージャーにこのサービスを適切に認識していただくことも重要です。</p> <p>まず永田の事業所を知ってもらうように広報以外の方法を検討してください。</p>

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)</p>	<p>利用者やご家族が安心して生活できることはどういうことなのか定期随時のサービスにとらわれずに考えて提供していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者だけでなくご家族の負担を考えながら在宅生活を安心して送れるための援助を一緒に考えて提供している。 ・利用者やご家族との信頼関係を築くために利用者やご家族から発する言葉や表情等聞き逃さないようにコミュニケーションを心掛けている。 ・今年度初めてアンケートを実施した。継続して行きたい。 	<p>利用者と目標を共有し達成できるように今後も取り組んでください。 良い距離感を保ちながら、サービス内容だけでなく、良い関係を保てるよう接遇を含めて安心感が作れるように努めてください。</p> <p>満足度調査やアンケート等年1回は実施したら評価の指標になると思います。</p>
---------------------------------	--	---	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	(令和3年度) 評価結果	(令和4年度に向けて) 改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>介護医療連携推進会議の適切な開催が出来なかった。 コロナ禍での研修のやり方を集合からビデオ研修を行うことで皆が空いた時間で視聴できた。 感染予防対策としての研修は出来たが、災害時の不安や一人夜勤での不安の解消のための取り組みは継続していかなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護医療連携推進会議の適切な開催を行う。会議の場へ多くの職員の参加してもらい学びの場にする。 ・より良いケアの提供のために理念や業務目標を共有して取り組み職員の知識向上に努めていく。 ・感染症や災害時におけるサービス提供が継続出来るように計画作成しシュミレーションを実施する。
<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 ご利用者やご家族の生活のリズムを把握理解し柔軟に訪問を調整出来ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心身機能の維持回復に向けて、アセスメントを行い援助に結びつける。寝たきりの方へのアプローチについても検討していく。

	(評価項目 11～21)	<p>寝たきりの方への心身機能の維持・回復について難しく考えていた。委員の方のコメントのように一つでも維持・回復になることが大切であると認識できた。</p> <p>変化の時の報告を重要と考えがちだったが日常の様子を意見交換報告することも大切であると認識した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の「気付き」を積極的にケアに反映させ、検討・評価を行い丁寧なケアの実践に繋げる。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<p>利用者だけでなくご家族のことも考慮し検討しているが、全てが受け入れてもらえるわけではなかった。</p> <p>看護職の提供状況やアセスメントを共有し医療的なアドバイスを受けて日々の援助を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や利用者やその環境を把握し情報共有し、丁寧なケアを実践していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	<p>介護医療連携推進会議は適切に開催出来ていない。</p> <p>コロナ禍でもできる事を検討しなくてはいけない。</p> <p>地域の方やケアマネージャーにこのサービスを知ってもらえる仕組みを構築していくべきであった。(事業所の現況報告等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の現況報告を発信していく。 ・長岡市の第8期計画について職員皆が理解できるように進めていく。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)		<p>利用者と目標を共有し達成できるように今後も取り組んでください。</p> <p>良い距離感を保ちながら、サービス内容だけでなく、良い関係を保てるよう接遇を含めて安心感が作れるように努めてください。</p> <p>満足度調査やアンケート等年1回は実施したら評価の指標になると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活の継続が出来るよう、職員一人ひとりが利用者やご家族の環境を理解し意見を受容し寄り添うケアを提供出来るように支援する。 ・利用者アンケートを実施しより良いケアの提供に結び付ける。

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します